

開催趣旨

我が国において、近年、子供の連れ去り事件等が頻発しており、学校関係者、保護者等においては、子供の安全確保対策を検討することが喫緊の課題となっている。その対策の一つとして、携帯電話・PHSを利用した子供の動態確認サービスが普及しつつあり、また、無線タグ等を利用した、広範囲もしくはサインポスト等通過の動態把握にも一定の理解が得られるようになっている。

しかしながら、そうした動態把握システムの大きさや価格の面から、幼稚園・学校等の特定集団全員に保有させることが困難であり、また、旧来の技術による電波発射源追跡システムでは発射源を特定する範囲が広いこと等から実用に供されていないのが実情である。

このような状況を受け、簡便で周波数利用効率の高い小型装置による、集団からの子供の逸脱把握の迅速化、通過経路の確認を可能とすることにより、子供の安全を向上させ、また、引率者・保護者の負担を軽減するシステムを検討することにより、更なる安全性の向上を図ることが期待できる。

本検討会は、一定の範囲内での存在確認・逸脱報告の機能を有する動態把握のシステムに適した周波数の選択、技術的条件等を検討することにより、安心・安全な子供の環境の整備に資することを目的とする。

子供を見守る I C T 技術に関する調査検討会開催要綱

～小電力データ通信による安心・安全な子供の環境整備に向けて～

1 名称

この検討会は、「子供を見守る I C T 技術に関する調査検討会」と称する。

2 目的

この検討会は、簡便で周波数利用効率の高い小型装置による、集団からの子供の逸脱把握の迅速化、通過経路の確認を可能とする通信システムの構築を検討するとともに、検証試験を通じて最適な周波数の選択や技術的条件等を明らかにすることによって、安心・安全な子供の環境の整備に資することを目的とする。

3 検討事項

子供の安全に関する現状と課題
小電力データ通信システム等の比較調査
モデルシステムの検討
通信試験による技術性能等の検証
モデルシステムの提案とその導入に向けた課題と方策

4 構成

北陸総合通信局長の委嘱を受けた者により構成する。構成員は別紙のとおり。

座長 1 名を置く。座長は構成員の互選により選出する。

副座長 1 名を置く。副座長は、座長が指名する。

5 運営

本検討会は、座長が招集し、主宰する。

副座長は、座長を補佐し、座長不在の場合は座長の職務を代行する。

本検討会の運営に関して必要な事項は、検討会において定める。

6 開催期間

平成 1 8 年 6 月から平成 1 9 年 3 月までとする。

7 事務局

本検討会の事務局は、北陸総合通信局無線通信部航空海上課が行う。

構成員名簿

(敬称略、順不同)

いなまる 稲丸	けんいち 賢一	株式会社シミズシンテック営業支援部部長
いわはら 岩原	まさよし 正吉	国立大学法人金沢大学大学院自然科学研究科教授
かねひら 金平	いさお 勲	財団法人石川県産業創出支援機構 経営支援部経営支援センターアドバイザー
かみふくもと 上福元	ひろし 浩	沖電気工業株式会社 情報通信事業グループネットワークアプリケーション本部 ワイヤレスセンサネットワークビジネスユニットBU長
さかした 坂下	ひろし 弘	石川県警察本部生活安全部生活安全企画課 生活安全調査官 兼 犯罪防止対策室長 兼 子供安全対策官
しおだ 塩田	ひとし 均	財団法人テレコムエンジニアリングセンター較正部部長
すえひら 未平	ゆうじ 佑二	石川県教育委員会事務局教育次長 兼 スポーツ健康課長
たん 丹	やすお 康雄	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科助教授
つちくら 土倉	ひろし 浩	株式会社横山商会製品開発センタ第2開発グループ主任技師
どうした 堂下	よしお 喜雄	オムロンフィールドエンジニアリング株式会社 I B サービス事業部 参与
みやごし 宮越	たけし 猛	小松市教育委員会管理局保健体育課課長
わたなべ 渡辺	たけし 剛	株式会社NTTデータ北陸公共ビジネス担当営業課長